



AUE News

2013年11月1日

第 71 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



目次

● 行事予定(11月1-15日)

● トピックス

- ・松田学長ら韓国光州教育大訪問と日韓教育大学長フォーラム出席
- ・第1回交通安全講習会
- ・システム管理者向け情報セキュリティ講習会
- ・文部科学省佐藤教員養成企画室長が来学
- ・第2回リベラルアーツ Edu セミナー
- ・附属幼稚園児が実習園で芋掘り
- ・学生が陸上インカレおよび東海地区国立大学体育対大会の結果を学長に報告
- ・図書館総合展ポスターセッションに出展

・第32回彫刻展

・秋のランチタイムコンサート

● お知らせ・報告・投稿

- ・井ヶ谷地区役員との懇談会
- ・後期外国人留学生ガイダンス
- ・陸上競技部の国体および日本ジュニア陸上競技選手権大会の結果
- ・大学見学に岡崎西高校生徒、豊橋南高校保護者が来学
- ・「アイルランド文学と音楽の夕べ」を開催
- ・「JICA ボランティアセミナー」を開催
- ・「創基140周年記念講演会」を開催
- ・催しもの案内

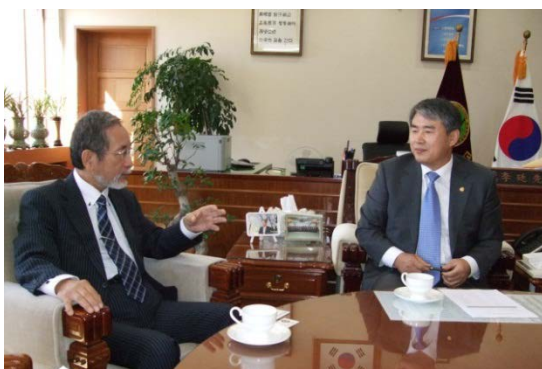
行事予定(11/1-15)

- 5日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 第五会議室)
- 6日(水) 教務企画委員会 (13:00～ 第二会議室)
学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)
- 12日(火) 役員会 (13:00～ 第五会議室)
- 13日(水) 代議員会 (13:30～ 第五会議室)
教育研究評議会 (代議員会終了後、第五会議室)
- 15日(金) 附属学校運営委員会 (10:00～ 第三会議室)

トピックス

松田学長ら韓国光州教育大訪問と日韓教育大学長フォーラム出席(10/15-19)

松田正久学長は、10月15日(火)～17日(木)に本学の協定校(2011年6月締結)である韓国・光州教育大学校を表敬訪問しました。同校は1923年に全南公立師範学校として開校した4年制の国立教育大学で、現在13学科、1,555人の学部生、21専攻、760人の大学院生や、李廷先総長以下170人の教職員が在籍しています。



16日(水)に松田学長は本学元招聘教員と招聘予定教員の3人と面談の後、李総長ほか国際交流担当理事らと懇談。李総長から招聘研究者の受け入れについてのお礼が述べられ、個人的(専門は教育心理学)には僻地教育を研究し、徳島県の30校余りの学校を訪れた経験を話されました。また、「昨年10月に総長職に就いたばかりなので、何に力を入れて取り組まれたかアドバイスをしてください」との依頼に、松田学長は「1年目はやりた

いことがいっぱいあったが、時間はあっという間に過ぎる。6年間最も力を注いだのは博士課程など組織改革でした」と回答し、国立大学法人化後の課題や組織などについて説明。李総長から日韓の理解を深めるため、短期・長期の学生相互交流について提案があり、具体的な検討を約束しました。その後、学内のキャンパスツアーでは都市部にありながら緑豊かな環境にある素晴らしい校舎や施設を見学しました。また、行き交うたびに、学生さんからあいさつを受けたのは新鮮でした。

17日は木浦（モッポ）附属小学校を訪問。同校の生徒数は1クラス28人、18クラスで504人です。校長室では男女5年生2人が英語と日本語で歓迎してくれました。校内施設では授業をミラー越しに見学できる階段教室、放送室、電子黒板、ITルーム、給食カフェテリアなど設備が非常に充実し、教育実習生が附属に寝泊まりしながら実習をする設備もありました。夕方にはソウル市内に移動し、折出健二理事（総務担当・副学長）と合流。



18日（金）午前中は、第6回日韓教育大学長フォーラムへの参加予定者約50人（日本側：11教育大学，韓国側：10+1教育大学校等）が主催校であるソウル教育大学を訪問。辛恒均総長との接見、ソウル教育大学の紹介及び広報映像の視聴、大学施設（寮、附属小学校を含む）を見学。



続いて、バスで移動し、伝統文化体験施設である南山韓屋村を訪れ、朝鮮王朝時代（1392～1910年）の伝統家屋を見て回りました。

午後にはフォーラムが開催され、主催校のソウル教育大学校辛総長が「日韓両国だけでなく21世紀の東アジアの国境を越えた教育の発展に寄与し成功することを祈念し、遠方より参加された皆様に感謝します」とあいさつ。日本側代表の鳴門教育大学田中雄三学長は

「両国の研究成果が創造期から充実発展期へ発展するよう一層友好的な関係の構築を望みます」と述べました。

フォーラムの第1テーマ「教師としての資質・人間性」については鳴門教育大学梅津正美副学長から「教員としての資質・能力の明確化と教員養成コア・カリキュラムの編成」、光州教育大学李廷先総長から「教職人生プログラム・心優しい先生」について発表がありました。

第2テーマ「校内暴力」については京都教育大学位藤紀美子学長から「校内暴力（暴力行為）」、韓国教員大学校金周成総長から「学閥主義教育の危機と学校暴力」についてそれぞれ発表があり、両テーマとも、時間を超過して活発な討論が行われました。



閉会にあたり、次年度主催の上越教育大学佐藤芳徳学長が「教育現場において、いじめ、道徳教育、インクルーシブ教育等の独自の課題がある。優れた教員とは何かは永遠の課題。来年は当番校なのでよろしくお願いします」とあいさつ。晋州教育大学校金善有学長から「課題を模索し解決することは意義深い。2年前の津波の映像では心痛めた。政治の影響で日韓の交流は冷えてしまったが、今日のようなフォーラムが持続することを願います」と抱負を述べました。

夜には歓迎のディナーが催され、各大学関係者は食事をしながら歓談。主催大学の教員による民族弦楽器であるカヤグム（日本の琴に似た楽器）演奏、声楽（ピアノ伴奏）披露があり会場内では皆真剣に聴き入っていました。

最終日の19日(木)はソウル市内にある1997年にユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録された昌徳宮(チャンドクン)を視察。宮内には韓国ドラマ「チャングムの誓い」の撮影現場もあって、参加者はガイドの説明を興味深く拝聴し見学を終えた後、帰路に着きました。

なお、今回の松田学長、折出理事の訪韓には秘書広報課の伊藤が同行しました。

(秘書広報課長 伊藤純一)

第1回交通安全講習会(10/23)

10月23日(水)に「第1回交通安全講習会」を開催、三好自動車学校と連携により、約300人の学生が参加しました。

この講習会は、来年度に自動車通学するための入構許可証発行・継続手続きの条件として実施するもので、例年は年1回開催だった講習を年6回にし、交通ルールの遵守と交通マナーの習得・向上を目的に、学生への交通安全教育の充実を図っています。



冒頭、学生支援課から学内外での交通ルールの注意喚起および通学時における交通マナーの啓発を行い、引き続き、三好自動車学校の講師が安全運転の心構えに触れ、愛知県における事故の実態、悲惨な事故を起こした学生の手記および生活道路上での事故のケースなどを説明。参加した学生は、交通事故の恐ろしさや交通ルールを守ることの大切さを改めて認識したようでした。

(学生支援課 副課長 吉田宏)

システム管理者向け情報セキュリティ講習会(10/23)

10月23日(月)午後1時30分から、情報処理センター第3教育用コンピュータ室において「システム管理者向け情報セキュリティ講習会」を開催しました。

情報セキュリティセミナーは各種開催していますが、システム管理者向けの講習会は今回が初めてで、計18人が受講しました。

講習会は、まず情報処理センター長の中西宏文教授が「サーバOS何を選ぶ？」をテーマに、実際にあった不正アクセスの例を紹介し、サーバによく利用されるOSの種類やサポート期間等を説明しました。講演後は、どうしたら攻撃を未然に防げるか、万が一攻撃された場合、早くシステムを復旧するにはどうしたらよいか等、受講者同士で活発な意見交換が行われました。

講習会后、受講者から「システム構築をする上でいろいろ相談できる役割を持つ部署があると助かる」

「異動で事務システムの管理者になった。同じような悩みを持っている方々の意見を聞いてよかった」等のコメントや意見をいただき有意義な会となりました。

次のセミナーとして、全体向けに11月27日(水)午後1時30分から情報処理センターにおいて「個人情報保護・情報セキュリティセミナー」を開催しますので、ぜひご参加ください。

(情報図書課 情報化推進室 センター管理担当 佐合尚子)



文科省佐藤教育企画室長が来学(10/25)

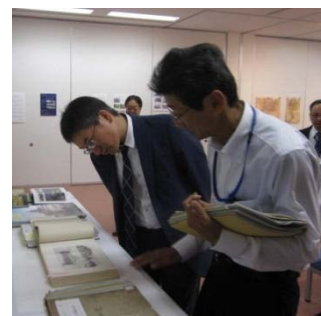
10月25日(金)、文部科学省高等教育局の佐藤弘毅教員養成企画室長が本学を訪問されました。同室長は同月4日付で現職に就任され、教員養成大学の現状を知りたいと今回の来学となりました。



午前中は、共通棟において学部の授業「国語科教育CI」（中田敏夫教授）を視察。続いて、附属図書館アイ♥スペースで開催中の「創基140周年記念展示」を見学、展示資料に基づき、本学の沿革等について三宅育夫教育研究支援部長、林光春情報図書課長から説明がありました。

松田正久学長、白石薫二理事らと昼食・懇談の後、午後からは附属高校の授業を視察され、早瀬和利校長から概要説明の後、「書道Ⅰ」（加藤眞太郎教諭）と「コミュニケーション英語Ⅰ」（松井孝彦教諭）の授業を視察されました。

このほか、松田学長、白石理事らの案内により、学生サポートセンター、国際交流センター、グラウンド、生協等学内各所も精力的に見て回られました。
(総務課長 佐藤博之)



第2回リベラルアーツEduセミナー(10/25)

10月25日(金)午後4時40分から、自然科学棟538教室で、「2013年度第2回リベラルアーツEduセミナー」として、長野工業高等専門学校一般科教授の大西浩次氏による講演会「地球市民としての科学リテラシー」を開催、自然科学を通じてどのようなリテラシーを身に付けることができるのか、経験を踏まえながらお話していただきました。プロジェクトメンバー5人に加え、教員4人、学生25人の、合計34人が参加しました。



大西氏は近年の地震や洪水などの自然災害を事例に、科学的知識に基づく畏敬の念を基礎に、自然と調和する能力を持つことの重要性を指摘。科学リテラシーの大前提として、人間が存在する意義や宇宙における地球の位置づけを考えることが大切であるとされました。その上で、放射能をめぐる議論を事例に、危険を予測し結果を検証する力を、日常のあらゆる側面で発揮することの意義を話されました。加えて、3万人の市民と共に行った

金環日食の観測データを紹介、市民の観測は最新の観測技術に匹敵する精度の結果を出すのみならず、様々な地域に住む市民の連帯感を高める可能性を秘めていることを述べられました。

大西氏は、科学リテラシーの目的には、①知識により命を守る、②論理的な判断力により人類を守る、③正しい想像力により地球を守るという3段階があり、そこに「プリミティブ」から「スマート」なりテラシーへの移行があるべきであるとされました。参加した学生は、科学は専門家の領域と思っていたが身近な問題であることを意識できたとする一方、「専門外」から科学に言及することの難しさを指摘する声も聞かれました。

(教育創造開発機構大学教育研究センター リベラル・アーツ教育部門研究員 長谷川詩織)

附属幼稚園児が実習園で芋掘り(10/28)

附属名古屋幼稚園の園児が、10月28日(月)に大学実習園で芋掘りを行い、畑を掘り起こしてサツマイモを手にしては歓声を上げていました。

芋掘りは、附属幼稚園の秋の恒例行事。この日は、4歳児クラスの58人が午前バスで到着し、実習棟で長靴と軍手で準備を整えると、元気いっぱいに実習園の芋畑へ。実習園の世話をする長友武志さんらに「お願いします」とあいさつ。長友さんから「今年はちょっと小さめですが、たくさんあるので頑張ってください」と声を掛けられ、掘り方を教わると、早速、作業開始。幼児教育選修の学生たちが事前に芋のツル



を取り除いておいたため、園児たちはすぐにサツマイモを見つけて、スコップや手で周りの土を丁寧に取り除いて引き抜き、「やったー！」と芋を手には喜び。この日のために家庭で用意した



袋に掘った芋を入れて、「重いー！」とうれしい悲鳴を上げる園児の姿も見られました。この日収穫したサツマイモは、先生たちが一カ所に集めて重さを量った後、一部は家にお土産に、残りは園で年少、年長クラスの園児たちと、おやつのかし芋にして食べる予定。

1時間ほどで作業を終えた園児たちは、実習園でお弁当を広げて、秋晴れの下でのランチを満喫した様子でした。

学生が陸上インカレおよび東海地区国立大学体育大会の成績を学長に報告(10/29)

今年度の日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ）と東海地区国立大学体育大会に出場した学生たちが、10月29日（火）、松田正久学長に入賞の成績報告をしました。

9月7日（土）、8日（日）に東京の国立競技場で開催された「天皇賜杯第82回日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ）」には本学陸上競技部の20人が出場し、そのうち400m走に出場した木引悠起子さん（初等・保健体育選修3年）が第3位入賞。また5月下旬から8月中旬に東海地区8国立大学の参加で開催された「第62回東海地区国立大学体育大会」では、20種目中本学の陸上競技部、水泳部、弓道部、洋弓部がそれぞれ女子団体優勝し、女子の部で女子総合優勝に輝きました。そこで、この日はインカレで活躍した陸上部の木引さん、東海地区国立大学体育大会で活躍した各部を代表して、大道爽香さん（中等・保健体育専攻3年）、水泳部の岩田博子さん（初等・保健体育選修3年）、弓道部の内山美沙さん（初等・国語選修3年）、洋弓部の池田容子さん（日本語教育3年）が松田学長に報告し、昼食をとりながら懇談しました。



5人は、それぞれ大会と現状について報告し、今後の抱負などを語りました。松田学長は「スポーツ競技は優勝すれば喜ばしいが、優勝しなくても楽しくやるのが大事。楽しくやれば成績が上がれば、それにこしたことはない」などと言葉を掛けました。さらに、このうち4人が先日終えたばかりの教育実習にも話が及び、「大学に入ることがゴールではなく、スタートです。課外活動で燃焼してしまうことのないよう学業の方もしっかりお願いします。将来教員になった時、大学在学時の学びや活動したことは、必ず生きてくるから、これからも頑張ってもらいたい」と激励をしました。（学生支援課 課外教育担当係、亀山重人）

図書館総合展ポスターセッションに出展(10/29-31)

10月29日（火）から31日（木）まで、シフィコ横浜で開催された「第15回図書館総合展」のポスターセッションに参加しました。

同展は全国の公私立の図書館の取り組みについてのフォーラムや広報を行う催しで、本学の参加は、昨年が続いて2回目。今年のポスターは「愛知教育大学附属図書館プラス」というタイトルで、アイ♡スペースにおいて実施された様々なイベントの中から代表的なものを七つ紹介しました。6月から情報図書課職員が企画をして制作をしたものです。

具体的には、本学附属図書館の特色ある資料から墨塗り教科書の展示会、理科講座教員による「富士山展」、映画上映会と教員による講演会、能楽部員の学生能実演、音楽講座教員や学生の演奏会、美術講座学生による作品展、図書館職員と秘書広報課職員



企画による愛知教育大学卒業生の故市川房枝さんの没後 30 周年記念展示「市川房枝展」および演劇部員と学長による市川氏をモデルにした公演を 7 色の虹として描き、各色の扉を開けるとそれぞれのイベントの写真と説明が見えます。来場者からは「教育大学らしい取り組みですね」との感想をいただきました。

セッションには全国の公私立の図書館から、それぞれの取り組みを紹介する 52 点が出展されました。審査結果は、追って結果の発表があります。 (情報図書課 目録情報係長 福井千都)

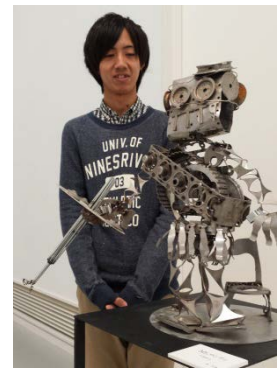
彫刻展(10/29-11/4)

本学の彫刻研究室による「第 32 回彫刻展」が 10 月 29 日(火)～11 月 4 日(月)、名古屋市東区の市民ギャラリー矢田で開催されています。

この展覧会は美術教育講座の宇納一公特別教授が中心となって、毎年開催。今年は自由参加の呼びかけに賛同した卒業生、在学生、教員ら 24 人が出品。最年長は 1959 年(愛知学芸大)卒の OB、最年少は 1 年生。木彫をはじめ、石膏、テラコッタ、陶器、鉄、樹脂、ガムテープなど幅広い素材の多彩な作品が一堂に会したユニークな会場は、来場者の目を楽しませています。



初参加の 1 年生は工場の廃材の鉄くずを溶接した愛嬌たっぷりのロボットのような作品を出品。制作の感想を「バラバラだったものが、次第に形になっていくのが楽しかった」と満足そう。木彫作品に挑んだ 3 年生は、「木の香りや見た目の温かみが好きで、もっと彫刻をやりたい。今回の作品は制作期間 2 週間ほどで、まだ納得できていないのが辛いです。難しい時もありますが、作品ができた時はよかったと思えるのが、彫刻のいいところ。こうして先輩たちとの作品展は、よい刺激をもらう機会になります」と参加の感想を口にしました。



秋のランチタイムコンサート(10/30)

本学音楽教育の教員、学生らによる「秋のランチタイムコンサート」が 10 月 30 日(水)午後 0 時半から、附属図書館 2 階のアイ♥スペースで開催されました。この日披露されたのはメンデルスゾーンのオラトリオ「エリア」の抜粋。オラトリオは宗教的な物語などを独唱、合唱するために作曲された作品で、林剛一教授、金原聡子講師、大学院修了生の松川亜矢さん、4 年生の後藤新治さんが熱唱し、国府華子准教授がピアノを演奏しました。



エリアは旧約聖書に出てくるモーゼと並ぶ預言者。開演に先立ち、社会科学教育の黒川知文教授が写真や地図入りの配布資料に沿って紀元前9世紀の北イスラエルを舞台に予言、奇跡や戦いを繰り広げてきたエリアの生涯を解説。続いて、テノール、ソプラノなどそれぞれの澄んだ声、二重唱、



ハーモニー豊かに「あなたの重荷を主にゆだねなさい」と歌う四重唱が会場に響きわたると、耳を傾けていた約70人の学生、教職員らは、時折目をつむるなど、聖書の世界へのイメージを膨らませている様子でした。最後にオラトリオを披露した出演者全員に大きな拍手が贈られました。



お知らせ・報告・投稿

井ヶ谷地区役員との懇談会(報告)

本年度の井ヶ谷地区役員との懇談会が9月18日(水)午後6時半から、本学第一福利施設で開催されました。会には、野々山利維地区長、加藤賢次市議、黒川智明市議ら、大学側の松田正久学長をはじめ理事、部課長ら、合わせて49人が出席しました。

松田学長が9月17日(火)に本学で開催した「防災・防火セミナー」に地域から参加いただいたことへのお礼を述べ、10月8日(火)に予定されている「総合防災防火訓練」にも参加いただきたいとあいさつ。野々山地区長は毎年定期的に懇談会が開催され、また昨年度より大学での防災防火訓練にも参加するようになったことなど、今後も一層連携が強化されるよう期待する旨、述べました。



続いて都築繁幸理事が本学と地域の関連情報を紹介、併せて事前に提示された大学周辺の交通問題を含む4件の要望について、大学としてできる限り協力したい旨回答を行うとともに、佐藤博之総務課長が刈谷市の避難所について、須賀達也学生支援課長が大学周辺の交通安全指導について、それぞれ説明しました。

その後の意見交換の場では、地区役員の方々から学生への防犯等の周知方法ならびに学生の認識把握への質問があり、担当課長より学務ネットのみならず、現在も重要な事柄については指導教員ならびに関係部署を通じて周知しており、より一層の把握に努めたい旨、回答がありました。

この後、懇親会に移り、和やかな雰囲気での懇談し、約1時間半の会を終了しました。

(教育創造機構運営課 地域連携センター係長 張山吉野)

後期外国人留学生ガイダンス(報告)

10月11日(金)、国際交流センターは「2013年度後期外国人留学生ガイダンス」を実施、全外国人留学生の8割にあたる45人の留学生が出席しました。このガイダンスは、4月と10月の年2回実施しているもので、日本の生活環境への迅速な順応、在留・在籍をはじめとする諸規則の遵守を促すことを目的としたものです。



開会にあたって、宮川秀俊国際交流センター長が「他人に迷惑を掛けないう道徳やマナーをしっかり守り、安全に生活し安心して勉強できる環境を作ってください」とあいさつ。続く刈谷警察の講話では、交通ルールと防犯を中心とした安全指導とともに、地震が発生した際の対応や日々の

備えについても詳しい説明が行われ、参加学生たちは熱心に耳を傾けていました。

留学生のうち9人は、この10月に来日し、本学での留学生生活をスタートさせたばかりです。今後、授業や課外活動を通じ、教職員や学生の方々と交流する機会が多くあるかと思しますので、その際にはぜひ、日本や大学での生活についてアドバイスをお願いします。（教育創造開発機構運営課 国際交流センター 宮内春菜）



陸上競技部の国体および日本ジュニア陸上競技選手権大会の結果(報告)

10月4日(金)～8日(火)に「国民体育大会」陸上競技の部が味の素スタジアム(東京都調布市)で行われ、女子成年走り高跳びにおいて、本学陸上競技部の相馬由佳さん(初等保健体育選修2年、新潟県代表)が6位に入賞しました。

また、10月18日(金)～20日(日)に、「第29回日本ジュニア陸上競技選手権大会」が名古屋市の瑞穂陸上競技場で開催され、女子800mで吉川侑希さん(初等保健体育1年)が7位、女子走り高跳びで池住瑞紀さん(中等保健体育1年)が8位に入賞しました。

*

なお、各個人の詳細な結果は、下記のURLからご覧いただけます。

国体の相馬さん：http://www.kirokukensaku.com/sports-sai-tokyo2013/kokutai_index.html

日本ジュニア陸上の吉川さん：<http://www.aichi-rk.jp/2013jy-kiroku/rel178.html>

池住さん：<http://www.aichi-rk.jp/2013jy-kiroku/rel057.html>

大学見学に岡崎西高校生徒、豊橋南高校保護者が来学(報告)

愛知県立岡崎西高校の2年生80人と教員4人が、10月18日(金)午前、大学見学に訪れました。

説明会では、大学紹介DVDと在学生からのメッセージ映像の上映の後、同校出身の3年の在学生が自作のパワーポイント資料で学生生活を紹介。授業の時間割、地元からの交通アクセス、アルバイトの種類や長期休暇の過ごし方、受験勉強について体験を話し、授業で制作した映像も上映して、在籍する情報科学コースの説明を行い、生徒たちは興味深そうに見入っていました。この後、職員の案内による施設見学をして、学食での昼食の体験、学内を自由に見学するなどして、本学をあとにしました。



10月30日(水)午後には県立豊橋南高校の保護者40人と教員3人が来学。説明会で、松田正久学長があいさつに立ち、「本学は教養教育を重視した教員養成を主軸にした大学。教員という職業を30年以上続けるために学び続ける姿勢を持ち続けるよう教養を大切にしています」などと本学の特徴などを話しました。続いて、大学紹介DVDを視聴した後、同校出身の4年生の学生が自身の受験勉強や寮生活について紹介。保護者から受験勉強を開始した時期について質問されると、「本気で取り組んだのは高校3年生の夏から。遅かったですが、先生になりたいなら絶対に愛教大に入りたいという思いがモチベーションになりました」と答え、「お子さんが1、2年なら十分間に合います。先生になりたいなら、教員採用試験のサポートがしっかりしている愛教大へ。学生寮での生活も設備が快適で、寮生たちの交流が盛んでお勧めです」とPRしました。その後は、ガラス工房でのガラス工芸の実演や、バスの車窓から学生寮や運動施設の見学をして、この日の見学を終えました。



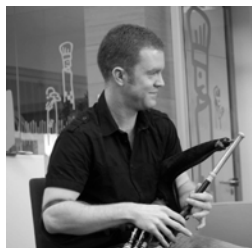
「アイルランド文学と音楽の夕べ」を開催(お知らせ)

アイルランド文学の紹介とアイルランド伝統音楽演奏家による生演奏を11月21日(木)午後3時～5時、大学会館・中集会室で行います。参加無料で、学内外を問わず、どなたでも参加いただけます。アイルランド大使館後援。

日 時： 11月21日(木) 15:00～17:00

場 所： 大学会館・中会議室

ゲスト演奏家：マーク・レドモンド氏。ダブリン工科大学 音楽・演技専攻、同大音楽修士号取得、2012年卒。全アイルランド音楽協議会 未成年部門優勝。アイルランド放送協会コンサート・オーケストラなど有名楽団の演奏会にソロリストとして出演するなど多彩に活躍。



問い合わせ：外国語教育講座 道木一弘研究室

TEL 0566・26・2244

E-mail:kdoki@aeucc.aichi-edu.ac.jp

「JICA ボランティアセミナー」を開催(お知らせ)

「JICAボランティアセミナー～国際協力というシゴト～」を、11月29日(金)午後1時20分～2時50分に第二共通棟431講義室で開催します。どなたでもご参加いただけるオープンな会です。海外でのボランティア活動に興味のある方、ふるってご参加ください。

日 時： 11月29日(金) 13:20～14:50

場 所： 第2共通棟431教室

内 容： JICAスタッフ(元青年海外協力隊員)によるJICAボランティア事業の概要説明。本学現代学芸課程国際文化コース出身の元青年海外協力隊員、澤野紀子さんの講演(職種：村落開発普及員、国：ブルキナファソ)。2011年9月に帰国した澤野さんから、フレッシュな体験談が聞けます。

問い合わせ：社会科教育講座 嶺崎寛子

TEL 0566・26・2501

E-mail:minesaki@aeucc.aichi-edu.ac.jp

「創基 140 周年記念講演会」を開催(お知らせ)

今年は、愛知教育大学の淵源である愛知県養成学校が1873年に開設されてから140周年にあたります。これを記念して、12月4日(水)に愛知県にゆかりのあるノーベル物理学賞受賞者の益川敏英博士をお迎えして特別講演会を開催します。

本学の歴史を振り返るとともに、これからの「学び」について理解を深めます。多くの方の参加をお待ちしています。

日 時： 12月4日(水) 13:30～15:00

会 場： 愛知教育大学講堂ホール

テ ー マ： 「これからの教育と科学と語る」

講 師： 益川 敏英 博士

内 容： 益川博士と本学の松田正久学長の対談形式による講演会。

学生諸君へ「学びに対する意識」と「将来に向けた役割」についてのメッセージを発信します。

対 象： 本学学生・附属高校生・教職員および一般の方

参 加 費： 無料

申込方法： 会場準備の都合により、「事前申し込み」。(定員1000人、先着順)

申 込 先： E-mail: 140kinen@m.aeucc.aichi-edu.ac.jp

Fax: 0566・26・2170

(ファックスの場合、申込書は下記ホームページから印刷してご利用)

ください。 <http://www.aichi-edu.ac.jp/>)

問い合わせ： 学生・教職員： 学生支援課 吉田 TEL 0566・26・2172

一般・報道関係：秘書広報課 小林 TEL 0566・26・2738

催しもの案内

◆附属図書館所蔵資料展「尾張名所図会―江戸時代の旅案内―」

11月1日（金）～19日（火）9：00～22：00（土日祝日は11：00～17：00）入場無料

附属図書館 アイ♥スペース

附属図書館所蔵「尾張名所図会」後編の展示会。江戸時代の人々が旅した尾張の観光名所を紹介します。

問い合わせ：附属図書館 TEL 0566・26・2198

<http://www.aelib.aichi-edu.ac.jp/>

◆地域連携フォーラム2013

11月9日（土）13：00～16：30 参加無料

大学会館 中会議室

テーマ：本学の地域連携における活動と今後の展望―学生の地域の活動を中心に―

主催：本学教育創造開発機構・地域連携センター

問い合わせ：教育創造開発機構運営課 TEL 0566・26・2129

◆第7回科学・ものづくりフェスタ@愛教大

11月23日（土）10：00～16：00 参加無料、事前申し込み不要

第一共通棟、自然科学棟

対象：小・中学生、高校生、教員、一般

主催：教育創造開発機構 科学・ものづくり教育推進センター

ランチタイムレクチャー、訪問科学実験、楽しいものづくり教室、教材開発工房・教材創庫、天文教育講座、本学教員・学生・連携学校等の実験・体験・製作などの28プログラムを実施します。

問い合わせ：科学・ものづくり教育推進センター

TEL 0566・26・2312

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/>

◆愛知教育大学天文台 第87回一般公開

11月23日（土）10：00～20：00 参加無料、事前申し込み不要

第一共通棟108室、自然科学棟5階 地学538、574室、屋上天文台

10：00～16：00「3D宇宙の旅」と「秋の星座物語」上映、天文工作教室「日時計を作ろう！」 10：30～12：00太陽観望会 14：00～15：30太陽・金星観望会 17：00～18：00天文身に講座「望遠鏡のしくみ～大学の望遠鏡が大きくなる～」講師・澤武文特別教授 18：00～20：00秋の夜長の観望会

問い合わせ：理科教育講座 天文学研究室

TEL 0566・26・2624

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/astronomy.html>

編集後記

キャンパスの秋が深まっています。そんな中で見つけたのがアケビ。淡い紫色の外皮がぱっくり割れた中には、白い果肉が。「山で育ったから子どもの頃に、よく食べたよ。甘くて美味しかった」と松田学長。聞いたことはあっても食べるの初めて。素朴な甘さに滋味を感じました。今年はア



ケビの生り年とか。皆さんもキャンパスのどこかで目にしたら、“秋”を試してみたいかがでしよう。(K)

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者:総務担当理事 折出 健二